



LIONS NEWS

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 330-A

Vol.4
2022 March

新宿の蒼天に伸び行くコクーン（繭）は春隣



3.11 震災時、新宿 LC との募金から 11 年。 オトナになって話せること



■出演者 (ZOOM を利用し座談会形式：リモートで開催)

インタビュー：小野亨也さん (仙台二高 OB) 330-A 地区ガバナー 中井正力 東京新宿 LC L 鈴木郁朗

ファシリテーター：L 赤尾嘉晃

記録：L 三代勝之

企画編集：デジタル推進・広報室 室長 L 坂本純一

中井正力ガバナーが、昨年 9 月から始まったガバナー公式訪問で各リジョンを訪問した際、11 年前の東日本大震災時に新宿アルタ前募金で「仙台二高の学生さん」と一緒に活動した事を話されていたことを記憶しているメンバーも多いと思います。

当時の彼らが募金に参加するに至る軌跡を追うべく、追跡取材を敢行しました。中井ガバナーが涙する感動秘話もあるノンフィクションストーリーをご一読ください。若い世代の社会へのかかわり、ボランティアへの考え方等を垣間見ることが出来ると思われれます。

質問は、大きく分けて 4 つ

- ① 街頭募金に参加するに至るまでの経緯を教えてください。
- ② LC と共に新宿で募金活動を経験し、震災から 11 年経過してオトナになり、その出会いから自分が変化したことや、インスピレーションを受けた事がありますか。
- ③ 社会人になり家庭も持たれて、社会の中で継承したほうが良いと思う事と、反対に変えていった方は良いと思えることは、それぞれどんなことですか。
- ④ これからのライフワークとして取り組みたいことを、家庭・仕事・地域などに分けてお話しいただけますか。

ファシリテーター L 赤尾嘉晃 (以下、L 赤尾) 自己紹介をお願いします。

小野亨也さん (以下、小野) 小野亨也と申します。1993 年生まれで現在 29 歳、社会人になって 6 年目です。大学は東北大学の工学部卒業で、2016 年 3 月まで仙台に居りました。同年 4 月に株式会社リクルートへ入社し、商品企画・開発を 4 年ほど担当しました。その後、企業の調達業務を支援するシステムを作るベンチャー企業に転職し、2 年半ほど経過しています。現在、東京荒川区に在住し、東京生活も 5 年ほど経っています。家族は結婚し 2 歳半の子どもがいます。



Q① L 赤尾 早速ですが、街頭募金に参加するに至るまでの経緯を教えてください。

小野 そもそも仙台の高校生だった僕らが、なぜその時東京に居たかというお話からはじめます。当時 2011 年の 3 月は大学の後期試験の受験のために東京に居ました。私も 3 月 12 日に横浜国立大学で試験の予定だったため、震災の瞬間は東京に前入りしていました。

しかし、地震でそもそも試験が中止になり、仙台に帰るための長距離バスや新幹線等の交通網も全て止まっていました。親とは連絡がついたのですが、帰っても毎日余震が大変だから、逆に東京にいた方が安全だという話になりました。特にすることも、行くあてもなく、1 週間ほど東京に居る事が決まったのが、3 月 11 日時点の私の状況でした。

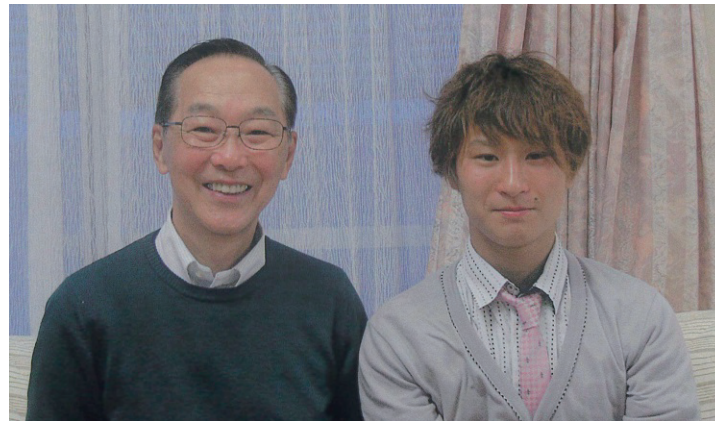
後期試験で上京していた高校の同級生の親戚の家などに泊まらせて頂いたり、上京していたサッカー部のメンバーと連絡を取り合って、地元が大変な状況で僕らは仙台に帰れない。しかし、元気な身体だけはあるので、何か力になる活動は出来ないかなと私から連絡を取り合い、新宿のマクドナルドで会話をしました。そこから誰からともなく、「募金活動が良いのではないか」という話になり、まずは行動してみようという形になりました。

この話が出て池袋駅東口の広場前で、自分たちで箱を作り自主的募金を始めました。

間もなく警察が来て、「許可を取っているのか」と尋ねられました。当時、義援金詐欺のようなものがあり集めた募金を日本赤十字に送る等の証明が必要でした。そのことを私たちは把握しておらず、許可をとるのにも 1-2 週間かかると言われました。

其処で既に証明がなされている団体さんに、募金活動をするメンバーとして加わる形で協力する事が出来ないかと考えました。

ライオンズクラブについては、新宿のライオンの銅像も知っており、街頭で募金する姿も見ていたので、我々も参加させて頂けないかという思いでお声掛けをさせて頂き、実際に其処から募金活動に繋がりました。



震災後、L 鈴木宅に小野さんが訪問された際の写真

L 赤尾 募金を始めて直ぐに警察が来た事は、驚きましたね。

小野 そうですね (笑) 僕たちとしては良い事やっている・貢献しようという思いで動いていたのですが、一連の手続きが必要で有る事はやむを得ないとは言え、誠実さだけでは上手くいかないなといったモヤモヤはありました。

L 赤尾 因みにライオンズをご存知だったというのは仙台の街中で見かけたことがあったり、何か接点があったのですか？

小野 詳しい活動までは把握していませんが、街角でライオンズクラブの「のぼり」を見かけ、新宿アルタ前のライオン像で待ち合わせしていた事もありました。一見すると銅像に見えますが、実は募金が出来るといふことも知っていたので、認識はしていました。

L 赤尾 いまライオン像の話が出ましたが、実は東京新宿 LC が制作したものです。中井ガバナー、ライオン像の説明をして頂いても宜しいでしょうか。

ガバナー 中井正力 (以下、中井 G) 東京新宿 LC は今年で創立 62 周年を迎えます。40 周年の際に当時のメンバーの協力に因り、お金を入れるとライオンが「ウォー」と吠えて、女性の声で「ありがとうございます」という募金箱を作成しました。

実は SNS でも話題になっており、「お金を入れると吠える」と若者の間でもバズっています (笑) 奉仕活動を行ううえで、募金で困っている人たちに手を差し伸べる事ができたり、活動の範囲が広がっている状況です。



L 赤尾 鈴木 L は長くライオン像に関わっていらっしゃると思いますが、ライオン像に対する思いは御座いますか。

L 鈴木郁朗 (以下、L 鈴木) ライオン像は私が入会する前から有るので、在って当然という感じです。子どもたちがライオン像と戯れている様子を見ると、とても微笑ましいです。

L 赤尾 小野さん、実はライオン像というのはライオンズクラブの東京地区にとって、象徴的なものです。其処に目をつけて下さり、有難う御座います。実際、募金をやってみて如何でしたか。

小野 初日・二日目に一番感じたのは、募金して頂ける方々が単純に多いということです。

池袋で募金活動をやっていたのもありましたが、ただの高校生が募金の箱を持っていた池袋での活動でも、ご協力頂いた方は多かったです。それと比べられないくらい、街ゆく人々のなかに安心・信頼が伝わっていたからこそ、より幅広い方々に協力して頂けたと感じました。それに留まらず、色んな新聞社さんや海外のメディアさんからもお声がけ頂く事があったので、ライオンズクラブが長年団体として活動を継続されていることが社会的信頼に繋がっていると実感しました。

L 赤尾 中井 G、募金活動を一緒に行うことになった経緯をお願いいたします。

中井 G 学生服を着て、明らかに大学受験で上京されている高校生の方だとすぐに分かる光景で、募金箱も手作りでした。それを見て私が高校生だったら同じ行動をしたらどうかと自問自答しました。小野さんのリーダーシップと仲間たちの友情と郷土愛。正直、感動し、一緒にやりませんかとお声がけしました。今でも、君たちと出会えたことは自分にとって本当に幸せであり、今も感動しています。

L 赤尾 中井 G 有難う御座います。小野さんに伺いますが、何日間活動されましたか？

小野 私は代表という立ち位置で有ったので、5 日間活動していたと思います。他のメンバー 7-8 名も代わる代わる活動していました。

L 赤尾 高校在学中から社会活動をやろうと考えていたのでしょうか。それとも、3.11 の経験からでしょうか？

小野 地元に対し、特に何か活動をしていた訳では有りませんでした。おっしゃる通り、震災があった事がきっかけです。周りの同級生たちも、活動の経験の有無に関わらず、避難所の支援などを同級生みんながやっている状況でした。それくらい当時の年代の我々にとって、強烈な経験でした。

その姿を見て自然と東京でも何か出来ないかという思いが湧きあがりました。

L 赤尾 当時のコミュニケーション方法は？

小野 スマートフォン・メールを通じて、声をかけあって連絡はとれていました。

L 赤尾 流石、デジタルネイティブ世代ですね。

Q2 L 赤尾 信頼できる団体と共に新宿で募金活動を経験して、自分自身が 29 歳になった今、その出会いから自分が変化したことや、インスピレーションを受けた事など気付いた事が有ればお願いいたします。

小野 大きく二つあります。

一つ目は、一人で出来る事には限界があり、それぞれの特徴や強みを持って、その上でチームとしてやっていく事のインパクトは大きいということです。僕らは、5 日間連続で声を張っても元気で遣れる体力だけは当時あった訳です。しかし、それだけだと前述の通り、池袋では募金活動が出来ないという結果でした。ライオンズクラブの皆さまが新宿で培った実績を頼ることで、実際行動に繋がった部分があるので、お互い助け合い・補い合うと、大きな事が出来ると感じました。

二つ目は、数字や論理が全てではなく人を動かすには「想い」や何か誠実な部分が根幹に有る事が大事なんだという点です。僕らは正直な思いだけを持って、当時、鈴木さんや中井さんたちに加わらせて頂けないかと打診しました。その想いが幸いなことに伝わり、承諾頂けたと思います。また、多くの方に募金のご協力を頂いたのも、純粹で混じり気のない想いの呼びかけが、街頭の皆さんの行動の変化に繋がったと思います。

L 赤尾 小野さん、流石ですね。中井 G、いまのお話のなかでひとつはチームワーク、そして「想い」が人を動かすという点について、コメントをお願いいたします。

中井 G 本当に今日、ZOOM を介してお話しが出来たことが嬉しいです。当時は小野さんたちの背景が見えていなかったの、先ほどのお話をお聞きしこの様な経緯で僕らは出会えたのだと思うと、とても不思議であり大変嬉しいです。

L 鈴木 すごいよね、池袋でうまくいかなかったあとは知らなかった。感動しました。

Q3 L 赤尾 社会人になり家庭も持たれて、社会の中で継承したほうが良いと思う事と、反対に変えていった方は良いと思えること、漠然とした大きな括りで、30 歳目前の感覚でおっしゃって頂ければと思います。

小野 継承した方が良い点は、当時我々が行った募金活動しかり、炊き出しやボランティア活動を含め、海外のメディアから日本の災害時の一致団結をしながら乗り越えていく力が凄いとされていたと感じます。東京だと特に普段のご近所付き合いも少なくなっている一方、本当にいざという時の助け合いは凄いなものがあるというのは肌で実感しました。コロナの状況下でも、日本でロックダウン的な強制的な政策実行がなくとも、日本の方々は陽性のレベルをみて行動の自粛をして感染を抑えてきました。

如何なる有事の際の危機意識の高さ・協力意識の強さを当時も実感しましたが、あれからいろんな事柄を経ても実感する事は、強くありました。そういうところは日本の良いところだと思いましたので、助け合っていく精神はこれからの社会でも続いていくと良いなと思っています。これが継承という点で思い浮かびますね。

そして、変化という点で申し上げますと、私もテレワークをしており、直接人に会うことがこの 1-2 年少なくなってきました。感染に気をつけながらも、直接人と話す大切さ、それによって人の心が動くということを当時肌で感じました。オンライン、リモートも併用しつつ、直接人と会話をしながら心を通わせることを大事にしましょう。メリハリが効く社会になったからこそ、いま一度直接 会話をする・触れる時間を大事にしたいと思います。

L 赤尾 最初に、継承した方が良いとした点として「助け合い」や「団結力」を挙げられていました。実は中井 G が今期のテーマの一つとしているのが、「減災」です。

災害を未然に防ぐという考え方を一生懸命広めようとしています。そんな中で、いま継承していきたい「助け合い」についてコメントお願いいたします。

中井 G 募金活動と減災は種類が違いますが、若い人たちがボランティア活動に対して非常に熱心に取り組む社会的な環境が整ってきていることに驚いています。私は減災を通して、皆さんの普通の安全な生活の中で、万が一の危機に備えよう・平和ボケしないで、「災害が起こらなければいいけど」で済む世の中ではないと痛感しているので、今回「減災」をテーマにしました。日本社会と同様に、ライオンズクラブもどんどんと高齢化が進んでいます。

日本にライオンズクラブが発足してから70年という歴史のなかで、同じような事業の社会貢献を長くやっていくだけでは追いつけず、やっぱり貢献の仕方を変えていかなくてはいけない。若い人たちと一緒に奉仕活動ができる、そんな環境にライオンズクラブを変えていかなくてはいけないというのが、喫緊のテーマになりつつあります。現在「ボランティア学生支部」を作ろうと計画しています。具体的に協力して頂ける大学が3-4校ほどあります。

Q4 L 赤尾 結びの質問です。これからのライフワークとして取り組みたいこと、家庭・仕事・地域などを分けてお話しください。

小野 順に話していきたいと思います。まずは「家庭の話」ですが、18歳だった自分も結婚をし、親になりました。当時私が募金に対してまっすぐ行動できたように、自分の子どももまっすぐに「想い」を大事にしながら育ててくれたら良いと思います。本人のやりたいことを尊重して、あまり干渉せずのびのびとさせてあげられる親になりたいし、家庭の面ではこういった父親としての心構えがまずは思い浮かびます。

「仕事の面」では、はじめは私も大きな会社に入社しそこから転職をして、ベンチャー企業の創業メンバーとして加わり、現在は30名弱の会社ではありますが、3年後・5年後に上場を目指せるように会社を大きく出来るようにしたいです。現在はシステムを開発していますが、その商品を通じて世の中を良く変えていくことを目指して、会社の運営を日々しています。

最後に「地域について」、上京して6年ほどに経っていますが、仙台を地元を持つということに対して誇りを持ち続けたいと思っています。自分が生まれ育った所で単純に愛着がありますが、震災から復興していく強い地元の人々に対して「想い」はあります。そこに誇りを持ち続けて、地元に大事にするという想いは変わらず、今後も持ち続けたいと考えています。

編集後記 (L 坂本純一)

この企画が成功裏に終えられたことは、広報活動に携わる一員として大変有意義な事でした。毎回の特集記事を広報室内で企画しますが、今まで取り上げることがなかったノンフィクションを小野亨也さんの協力のもと、Zoomを介して実現できたことに感謝申し上げます。小野さんのお話の中で、「一人で出来る事には限界がある」と発言されました。これはライオンズクラブも同じで、個人個人の強み・出来る事を結集し「We Serve: 我々は奉仕する」をモットーに奉仕活動を継続しなければなりません。また、ボランティア活動を継続するには、自分自身も幸せでなければなりません。幸せで有り続ける為には「誰と過ごして、その人に何を与えられるか」だと思います。「幸福の伝播」で今回のご縁により、取材ができた事に感謝申し上げます。





2021.12.22

クリスマスプレゼント贈呈 アクティビティ



東京町田クレイン LC
<https://330a.jp/club/20211227.html>



2021.12.25,26,28 2022.01.05~07

「冬休みわくわく子供食堂」報告書



東京渋谷 LC
<https://330a.jp/club/20220112-2.html>



2022.01.10

学生ボランティアと共に献血奉仕活動



東京三軒茶屋 LC
<https://330a.jp/club/20220112-3.html>



2022.01.09

第35回関東身体障がい者水泳選手権大会



東京ウエスト LC
<https://330a.jp/club/20220112-4.html>



2022.01.22

薬物乱用防止教室



東京蒼天 LC
<https://330a.jp/club/20220126.html>



2021.12.00

ジェルタイプハンドクリーナー贈呈 のアクティビティ



東京新橋 LC
<https://330a.jp/club/20220202.html>

Club Activity

クラブアクティビティ



コロナに負けるな!『あらかわ子ども応援ネットワーク』
にて食材配給を行いました!



東京文化 LC
<https://330a.jp/club/20220217.html>



献血奉仕活動を行いました



東京江戸川南 LC
<https://330a.jp/club/20220224-1.html>



コロナに負けるな!
寒さにも負けない献血活動!



東京昭島 LC
<https://330a.jp/club/220224-2.html>





2022.01.00

新年のご挨拶 地区ガバナー中井正力



(東京新宿ライオンズクラブ所属)
<https://330a.jp/cab/20211228.html>



2022.01.02,03

増上寺献血活動



GST 献血・骨髄移植委員会
<https://330a.jp/cab/20220112-1.html>



2022.01.20

パラリンピック強化資金贈呈式概要



<https://330a.jp/committee/20220210.html>



Let me hear what you think

ご意見伺い隊



2021.11.03

東京三鷹 LC40 周年 CN 記念式典 祝宴報告書



東京三鷹 LC
<https://330a.jp/home/20211223-2.html>



2021.12.18

えどがわ子ども食堂 クリスマス支援を行いました



東京江戸川南 LC
<https://330a.jp/club/20211213-1.html>



2021.11.17

東京築地 LC 例会訪問報告書



東京築地 LC
<https://330a.jp/home/20211223-3.html>



2021.12.10

東京両国 LC 例会訪問報告書



東京築地 LC
<https://330a.jp/home/20211223-4.html>



2021.12.07

東京八王子いちろうライオンズクラブ例会訪問報告書



東京八王子いちろう LC
<https://330a.jp/home/20211223-5.html>



2021.12.01

東京目黒 LC 例会訪問報告書



東京目黒 LC
<https://330a.jp/home/20211223-6.html>

Let me hear what you think

ご意見伺い隊



新都心 LC アクティビティ訪問報告書



新都心 LC
<https://330a.jp/home/20211224-1.html>



東京日本橋 LC 例会訪問報告書



東京日本橋 LC
<https://330a.jp/home/20211224-2.html>



東京堀留 LC 例会訪問報告書



東京堀留 LC
<https://330a.jp/home/20211224-3.html>



5名の女性委員長座談会



L 中原聡美

L 宮本志づ子

L 根岸久美子

L 椿佳生子

L 谷合ひろよ

日時 :2022年2月3日(木)14時~場所:キャビネット事務局

参加者

GST 献血・骨髄移植委員会 委員長 L 谷合ひろよ

GST 献眼・献腎委員会 委員長 L 椿佳生子

GST 緊急対策・アラート・復興支援委員会 委員長 L 根岸久美子

スペシャリティクラブ・FWT 委員会 委員長 L 中原聡美

LCIF 委員会 委員長 L 宮本志づ子

ファシリテーター L 桂太郎

記録 L 茂岡 幹弥

今期の運営方針の中で、中井ガバナーは「女性メンバーとの調和の取れた組織運営」をうたっています。また、期首のガバナー挨拶では、主要事業のひとつとして女性メンバーの活躍の場を広げることに取り組むとも述べています。そこで、今回は5名の女性委員長をお招きして女性メンバーの実情について座談会形式でお話を伺います。

「女性の活躍出来る環境づくり」について

L 桂 今期の委員会やクラブでの女性メンバーの実情についてお伺いしたいと思います。

L 宮本 私自身は男性ばかりの中で過ごしてきたので特に男性とか女性とかの意識はないですが、中井ガバナーの今期5人の女性委員長が誕生したのは画期的なことで素晴らしいことだと思います。

L 桂 女性だからやりづらいことはありますか。

L 根岸 クラブの中で女性だからと言ってやりづらいと感じたことはないです。ただ、緊急対策・アラート・復興支援委員会の歴代の委員長は、伝統的に強力なリーダーシップを持った男性委員長が務めていましたが、災害支援の際に女性がいることは非常に大切で女性ならではの細かなケアが出来るのではないかと思います。

L 桂 実際に被災する方々は男女半々ですから、女性の被災者に寄り添う女性メンバーがいなければ成り立たないですね。

L 根岸 当地区でも女性メンバーの割合が増えていくので、実力のある女性がクラブ内に収まってしまって才能が埋もれてしまうのは勿体ないですし、キャビネットにもっと入って頂きいろいろな知恵を貰いたいです。

L 谷合 私はボランティアの世界で女性だからというのではないと思います。逆に女性じゃなければ出来ないことが沢山あるのかもしれませんが。今期もお正月の増上寺のアクティビティなどは 100 名以上の方がお手伝い頂けて、女性だと助けてもらいやすいというところが正直言ってありました。お互い男性女性というのは尊重し合っても絶対超えられない部分があると思うので、そこを助け合っていけたらいいと思います。

L 桂 NASA プロジェクトなどでは必ず男性と女性の混合チームにすると聞いたことがあります。男女のバランスが取れるチームが一番効率的に回るんでしょうね。

L 椿 そうですね。献眼・献腎委員会は2割ぐらい女性がいます。自クラブでも女性がかかり入ってしまっていて上下もなく、自分の意見を話せる雰囲気です。先ほど谷合さんが仰ってましたが助けてもらった所は多いかなというのは感じています。今までやられてきた委員長さんの苦勞というのがひしひしとわかります。それは女性でも男性でも変わらないんじゃないかなと思います。

L 中原 私は FWT にいたのでずっと女性メンバーしかいない委員会でした。今期は男性メンバーに副委員長やコーディネーターとして入って頂いたことで、やっている事を男性メンバーも認知してくれるようになりました。また、女性ばかりの委員会は絶対お菓子がいっぱい(笑)。やっぱり気遣いが男性と女性では種類が違いますよ。女性が楽しいことって、美味しいものを食べる話ですよ(笑)。

《提言 1》女性メンバーを増やすには更なる女性委員長の登用を！

L 桂 では、せっかくの座談会ですので、女性委員長ならではの視点で中井ガバナーやキャビネットへ提案できることがないか話し合ってみませんか。

L 宮本 私は、委員長は半分女性でもいいくらいに思ってるんですよ。私の周りには素晴らしい女性がいっぱいいます。決断が速く行動も早い。そういう人たちと一緒に勉強しながらだと自分も成長できるしいと思っています。特に会員増強と LCIF というライオンズ活動の 2 大柱は重要ですので、もっと女性の力や若手の力を使っていけばいいと思います。

L 桂 確かに女性委員長が半分くらいいてもいいですね。そのためには、まず女性メンバーが少ないので、どうすれば女性メンバーを増やしていけるのかも考えなければいけないですね。

L 宮本 女性メンバーが 2-3 割いと全体の出席率も増えます。また、場が和やかにもなるので女性メンバーが増えるのは良いことです。ただ、奉仕に対する深い思いがある人が男性女性を問わず欲しいですね。そうすると仲間意識が芽生えて一つの目標に向かうんじゃないかと思います。

L 桂 日本のライオンズクラブは約 30 年間会員が減り続けていますよね。女性の社会進出とともに女性メンバーが増えても良さそうなのに思った程増えていませんね。

L 宮本 それは今までの社会の流れの中でライオンズクラブやロータリークラブだけではなく奉仕団体が山ほど出来て選べます。また、会費も安いからどんどん遅れをとってしまうのが現状ではないでしょうか。会員の減少で他地区の統合とかの話も出てきていて、ライオンズクラブも正念場だと思います。

L 根岸 そうですね。未だにライオンズクラブは入会のハードルが高いです。だから敬遠されてしまいます。一方で、会員増強と言いながら、片方で入会のハードルが下がらないというジレンマがあります。ここをフラットにしていけない限り入会する人は増えていかないのではないのでしょうか。それをどう発信していくのかも問題です。会員数の減少については間違いなく今が正念場です。女性会員の比率を上げていくという観点から言うと「女性が入りやすい環境をどうするか」を今しなければならぬと思います。

L 桂 では、改めて女性が入りやすいライオンズにするにはどうすればいいでしょうか。

L 谷合 私の活動地域の八王子では、ご主人はライオンズクラブかロータリークラブに入ります。しかし、奥様たちは他の女性ボランティア団体へ入ってしまい、お誘いしてもお断りされることが多いのです。

L 根岸 私は昔のように堅苦しくなく気軽に見にきてという機会があれば良いと思いますね。

L 宮本 今期、中井ガバナーが 5 人の女性委員長を登用しましたがこれを機に変えないとどんどん会員数が減ってしまうから打開策の一つとして女性委員長の登用がすごく大事だと思います。

《提言 2》キャビネット委員会にサポート委員制度の導入を！

L 根岸 私の委員会は 18 名で構成されています。首都直下型地震が起こった時、委員会の 18 名とキャビネット幹事団のメンバーと合わせて一体何が出来るのかということに危惧しています。そこで、委員ではなくアクティビティとか災害が起きた時のお手伝いとして協力するトライアル的なサポート委員を作って気軽に委員会に参加出来るような方がいたらいいなと思います。

L 桂 正会員に対する賛助会員のようなものですね。

L 根岸 そうです。一人でも多くのメンバーにキャビネットで活躍して頂けるようになればと思います。

L 桂 進藤ガバナー期に「ご意見伺い隊」ができて、新しいメンバーに参加してもらったところ、ライオンズクラブを知ってもらうのにたいへん役立ったと伺いました。キャビネットにちょっと顔を出したりいろんなクラブを回ったりできるような気軽な肩書があってもいいのかもしれないですね。

L 根岸 自クラブの良さは外に出て初めて分かるので、ライオンズに入会したからにはいろいろなところを見るべきですね。

L 宮本 ライオンズクラブは災害時に全国から駆け付けくれるような強力なネットワークが有るんです。集まったお金も物資も必ず現地の困っている人に届くんですよ。熱意がすごいです。そこに、根岸委員長が言うように委員会の委員ではないサプ的な人がいればいいですね。そして、「あ、面白い」と思ってもらって委員になって頂ければ良いと思います。

《提言 3》他のボランティア団体のサポートを！

L 中原 ボランティアやってる人たちへのサポートについてライオンズに全員が入らなくても誰かがその中に入って協力してもいいんじゃないかと思いました。奉仕団体を支援する団体、例えば子供食堂をやっている団体に誰かが毎日手伝いに行きますとか、そういうのもいいと思います。

L 桂 他のボランティア団体とも今後連携していかなければいけませんよね。

L 谷合 ボランティア団体も人数が減っているところもあるから、一団体だけではいろいろ出来ませんよね。東京麻布 LC の角膜センター・アイバンクなどと共催しているドナーファミリーの集いとか凄くいいと思います。

L 椿 そうですね。でも、コロナ禍で Zoom 会議が続くなか、Web で行うのと実際に見たり話しを聞いたりするのでは感動の格差が物凄く違うと思います。Web で行くと伝わりにくいかたとつくづく感じています。やっぱり人と人なんですよ。

女性委員長同士の連携について

L 谷合 今日のお話を聞いているともっと早くこの会があって5人で情報交換とか意見交換とかしたかったですね。

L 宮本 じゃ今日からやりましょう(笑)

L 桂 それでは皆さん今日からLINEで繋がりましょう。

L 根岸 そうですね。委員長は横の繋がりがいいから何処かの委員会で何かやる時にあまり関係がないですね。あと半期ですが、横の繋がりを密にして関係していければ良いと思います。

L 桂 この集まりから今までと違った女性会員増強の方法なども生まれてくるかも知れませんよね。

L 宮本 だから委員会で何かする時、協力するから私たちをもっと引っ張って下さい。

L 根岸 横の繋がりは大事ですね。一つの委員会が頑張っても横の繋がりがないと無理だと言うことも有りますよね。

L 宮本 やっぱりライオンズは繋がりにんですよ。

《総括》女性委員長にチャレンジしてください

L 桂 それでは最後に女性メンバーにメッセージをお願い致します。

L 宮本 委員長になるということは副委員長の時とは違うんですね。やっぱり責任を背負うということ。それから委員長はライオンズのことを勉強しなければ出来ません。しかし、委員長は凄い人脈が得られます。そうすると行き来して揉まれて凄い勉強になるし一人の人脈が増えればその後ろにたくさん人が付いているから凄い人数になるんです。だから私からのアドバイスは女性に委員長になって下さいということです。是非、委員長にチャレンジして欲しいと思います。



地区ホームページ [緊急時] アップデートのご案内

今期「GST 緊急対策・アラート・復興支援委員会」のガバナー諮問事項の一つに「災害発生時の地区内緊急連絡網の整備と、デジタル推進・広報室と連携し情報を発信しその対応の検討」の項目が掲げられております。

対談をさせて頂いた後に、23 区内の「防災」に関するホームページ「東京 23 区 (防災ページ・避難場所地図) 各区 HP 一覧：参照」を閲覧しますと、各区に因ってフォーマットの違いがあり、統一感が無く知りたい情報へスムーズに到達出来ない事が判明しました。

其処で先ずは、23 区内の情報を 330-A 地区 統一のフォーマット「詳細 23 区 避難地図」を再作成し、去る 2 月 9 日に GST 緊急対策・アラート・復興支援委員会 委員長 L 根岸久美子より、「地区ホームページ [緊急時] アップデートのご案内」の文章を発信させて頂きました。今一度、メンバーの皆様「詳細 23 区避難地図」をクリックして頂き、見て触って感想を広くご意見を頂きたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

※多摩地区に付きましても、順次作成中で御座いますので、お待ちください。



<https://330a.jp/xmaptop/tokyo23area-x-map>

編集後記

2月4日～20日北京五輪が開催されました。注目選手の一人、三大会連続金メダルを期待された羽生結弦選手。4位という結果ではありましたが、前人未到の4回転半ジャンプに果敢に挑戦した姿は、記録とともに記憶に残る功績となったことでしょう。

オリンピック王者である羽生選手は、仙台市出身、東日本大震災の被災当事者であることでも知られています。支援を受けてスケートを再開するも、長く罪悪感に苛まれたといいます。しかし、11年間震災と向き合う中で「生き残った使命がある」「一人の人間として何ができるのか」と考えるようになり、北京五輪の記者会見では「自分の演技が皆さんの心を一つにするきっかけになれば幸せだ」とコメントしています。

今号の特集記事で取材に応じて下さった仙台二高卒業生の小野さんも、「地元が大変な状況で、自分は東京に居て、何かできることはないか」と考え、募金活動という行動に移しました。

模索すれば道は見えてくる。想いがあれば知恵は湧いてくる。そして、助けが必要な場所には手が差し伸べられる。羽生選手、小野さんの姿からそんな希望を感じました。

ところで、フィギュアスケートの実況は「引き算の実況」といわれるそうです。選手の演技と音楽の邪魔にならないよう、言葉を厳選する難しさを感じます。主張しすぎもうるさく、足らないと寂しい、何事も塩梅が大切なのでしょう。広報に携わるものとして心がけたいところです。

キャビネット事務局デジタル推進・広報室 L 細田未央

キャビネット事務局デジタル推進・広報室

L 坂本 純一	室 長	東京三鷹 LC	L 細田 未央	室 員	東京表参道 LC
L 小野 健志	副室長	東京ピース LC	L 新井 大介	室 員	東京新宿 LC
L 吉岡 晋	副室長	東京けやき LC	L 坪坂 有純	室 員	東京新宿 LC
L 桂 太郎	副室長	東京世田谷 LC	L 三代 勝之	室 員	東京スバル LC
L 河田 淳一	室 員	東京平成 LC	L 石田 賢	室 員	東京三鷹 LC
L 庄司 芳樹	室 員	東京新橋 LC	L 森田 雅洋	室 員	東京三鷹 LC
L 茂岡 幹弥	室 員	東京白門 LC	L 山本 元気	室 員	東京調布 LC
L 石橋 卓磨	室 員	東京稲門 LC	L 坪谷 茂	アドバイザー	東京平成 LC
L 秋月 誠	室 員	東京飛翔 LC	L 赤尾 嘉晃	アドバイザー	東京豊新 LC
L 岩村 貴成	室 員	東京けやき LC			



電子版

ライオンズ国際協会 330-A地区 ライオンズニュース VOL.4 発行人:キャビネット事務局デジタル推進・広報室室長L坂本純一

発行:2022年3月

20220301

Copyright 2021-22 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.